

# JAれいほく青壮年部活動報告

JAれいほく青壮年部は、30名という少ない盟友数ではありますが、レタスや水稲、柑橘類、畜産等を中心に多種多様な農畜産物を生産しています。

田尻久部長を中心に、盟友一人ひとりが考えたことを意見として出し合い、みんなで協力し、各行事や地域への貢献活動を積極的にを行っています。

地域農業の担い手として、稼げる農業の実現を目指し、地域に密着した活動を行っています。

## JA総合祭り



▲力強く餅をつく盟友

JA総合祭りでは毎年、米の消費拡大を兼ね、杵つき餅の実演販売をしています。盟友たちで育てた地元産のもち米を使い、つきたて・出来立ての餅を販売しています。

力仕事の餅つきは男性が、餅を丸めるのは奥様方に分担し、農作業とは違った雰囲気楽しんで即売しています。また、販売は対面で行うため、おいしいと笑顔になるお客様を見ることで嬉しさが実感でき、明日からの仕事の糧となります。

## 新米キャンペーン



▲おいしいお米で作ったおにぎりを渡す盟友

3JA（れいほく、あまくさ、本瀬五和）で作る天草郡市農協青壮年部連絡協議会と同郡市女性組織協議会合同で8月26日、一般消費者に米の消費拡大を呼びかけるため、新米キャンペーンを行いました。

苓北町では苓北産新米コシヒカリ200袋（1袋2合）で、JA女性部お

にぎりを作り、セットにして「Aコープ苓北」と「JAー苓北SS」にて配布しました。

お客様にとっても喜んで受け取ってもらえたことで、米を作る者、おにぎりを作る者が共に笑顔という代償をもらえたうえに、米の消費拡大にもつながりました。

## 交流スポーツ大会

盟友の親睦と、JA役員や資材関係の担当者との交流・つながりを強化することを目的に、毎年ゴルフ大会を行っています。

いつもは聞きづらい仕事の話や、プライベートな話をしたりと、普段とは違う話題やプレーで清々しい汗をかき、良い交流ができています。



▲ドライバーショットにも力が入る盟友ら

## 食育活動

田植えから稲刈りまで一連の農作業を体験することで、農作物を育てる難しさや、収穫の喜びを実際に感じてもらいたいと、食育活動の一環として、次世代を担う地元の小生たちに指導と手伝いを行っています。

今では、農家の子どもたちも手で苗を植えたり、鎌で稲を刈り取りすることはないので、良い体験学習ができていると思います。



▲盟友の指導のもとに田植えをする子どもたち



▲楽しそうに田植えをする子どもたち